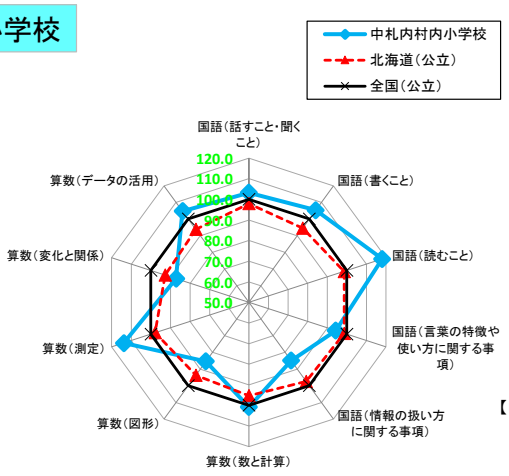
■中札内村内の状況及び学力向上策　（小学校数：2校 、児童数：27人）　（中学校数：1校 、生徒数：43人）

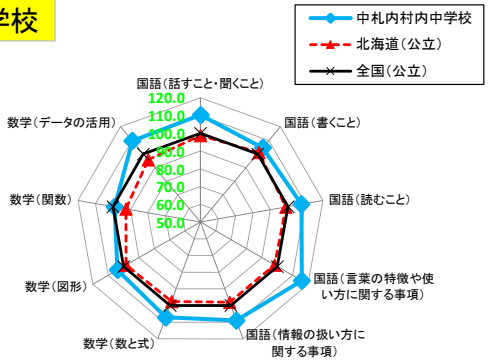
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

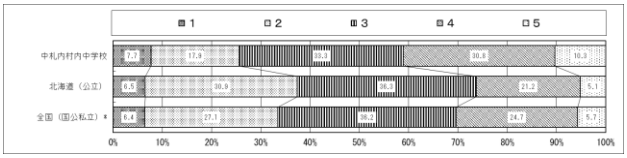
小学校



中学校

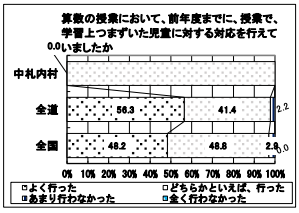


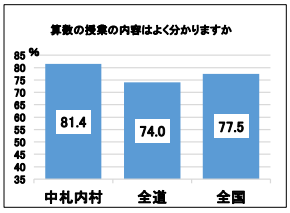
【中札内村内中学校英語IRTバンド分布比較】

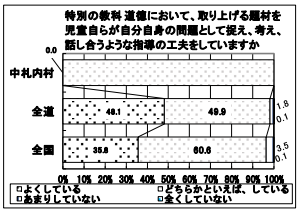


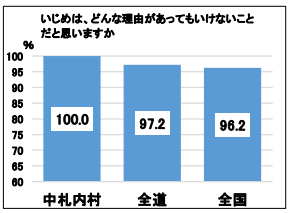
【質問調査の状況】

小学校

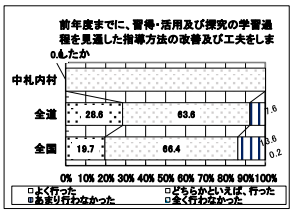


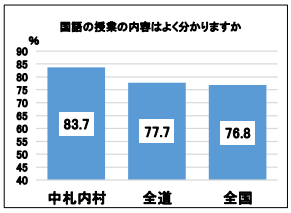


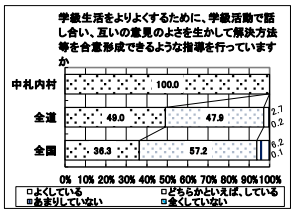


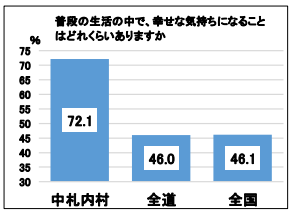


中学校









【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校	中学校
算数の授業において、前年度までに、授業で、学習上つまずいた児童に対する対応を、少人数習熟度別学習やTT指導、放課後や長期休業中の算数教室の開催等により個に応じて丁寧に行ってきた結果、算数の授業の内容がよく分かると肯定的に回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったとともに、算数の3領域で全国及び全道を上回ったと考えられる。	前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしてきたことにより、国語をはじめ、数学、英語の授業の内容がよく分かると肯定的に回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったとともに、国語の全領域全事項、数学の3領域、英語の全技能で全国及び全道を上回ったと考えられる。
特別の教科道徳において、取り上げる題材を児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしてきたことにより、いじめに対しての理解が深まるとともに、他者を認め、尊重する意識が高まり、いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うと肯定的に回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。	学級生活をよりよくするために、学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行うとともに、スクールワイドPBS（School-wide Positive Behavior Support / ポジティブ行動支援）を校内研修に位置付け、全校で取り組んできたことにより、普段の生活の中で、幸せな気持ちになることが「よくある」と回答した生徒の割合が全国及び全道を大きく上回ったと考えられる。

【中札内村の学力向上策】

◎ 加配等を活用した習熟度別少人数学習やTT指導による個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実の推進
◎「学力・体力向上等サポート会議」による調査結果の分析及び授業改善に係る取組の推進
◎ 学習規律及び基本的な授業スタイルの統一等、9年間を見通した系統的指導の推進
◎ 学習意欲の向上と基礎学力の定着、検定合格後の達成感や自己肯定感の向上に向けた各種検定の全額助成（回数無制限）
◎ ALTの小中1名ずつ配置、特別支援教育支援員の小中各学年への配置による人的支援の充実
◎ 長期休業中における教職員の実践的指導力向上に向けた中札内村・更別村合同研修会の実施